

令和8年5月27日

総務大臣 林 芳正 殿

金沢ケーブル株式会社
代表取締役社長 砂塚 隆広

事後評価報告書（中間評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和5年7月31日
- (2) サービス開始日 : 令和5年7月1日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目 標 (目標年度)	(実績値/目標値)					
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
Wi-Fi 機器 設置数	7,000 世帯 (令和10年度)	1,157 /—	1,649 /1,400	2,069 /2,800	— /4,200	— /5,600	— /7,000

(参考)

提供可能回線数	利用回線数					
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
8,608回線	1,157	1,649	2,069	—	—	—

3. 目標達成に向けて実施した取組

光インターネットサービス加入（新規契約及び同軸サービスからの切替時）に、当社から Wi-Fi 内蔵の D-ONU を設置し、加入者に Wi-Fi 機器購入の負担をなくす。適時、各所で加入相談会を開催し、加入促進の取組を実施した。

3年以上契約の方への工事費無料キャンペーン、月額費用の割引を実施。そのほか営業の外部委託を行った。

4. 評価

Wi-Fi 機器設置数 2,069 世帯

キャンペーンなどの取組を実施した結果、Wi-Fi 機器設置数について令和6年度は目標（1,400 世帯）を超えた設置数になったが、令和7年度は加入数が伸び悩み、目標（2,800 世帯）を超えられなかった。未加入者に対して他回線に比べての当社サービスの優位性を伝えきれていなかったことが要因と考えている。

今後も引き続き加入促進に努める。

利用回線数 2,069 回線

令和7年度末時点において2,069回線（利用率約24.0%）であり、未加入者に対して他回線に比べての当社サービスの優位性を伝えきれていなかったことが要因と考えている。

今後も引き続き加入促進に努める。

5. 課題への対応策

Wi-Fi 機器設置数

引き続き工事費無料、月額費用の割引のキャンペーンを継続し販促活動を実施する。今後は説明会への参加者の増加や個別訪問による未加入者への周知を強化し、かつ、新聞広告・チラシ・ダイレクトメール送付等を駆使して周知に努め、加入世帯数の増加につなげていく。

利用回線数

利用率が低いものの、利用回線数の主な要因である加入世帯数を増加させるため、引き続き工事費無料、月額費用の割引のキャンペーンを継続し販促活動を実施する。今後は説明会への参加者の増加や個別訪問による未加入者への周知を強化し、かつ、新聞広告・チラシ・ダイレクトメール送付等を駆使して周知に努め、利用率の向上につなげていく。